

## 取組点検指標を用いた取組確認結果（西三河地域）

## 1 背景

- ・水循環再生地域行動計画に定めた取組を着実に推進するため、各地域協議会に設置した行動計画フォローアップチームが中心となり、行動計画の進捗状況を点検・把握するために「取組点検指標」を平成20年度に取りまとめた。
- ・「取組点検指標」は「地域共通の取組」（下水道整備や雨水貯留・浸透施設の設置補助などの地域で広く実施されている基盤的な取組）と「流域別の取組」（地域住民による水源地と上下流交流、湿地の保全など地域に根ざした取組）が設定されている。
- ・「地域共通の取組」は水循環の4つの機能である「きれいな水」、「豊かな水」、「多様な生態系」、「ふれあう水辺」の項目で、「流域別の取組」は水循環再生に向けた取組テーマである「森づくり」、「郷づくり」、「まちづくり」、「川、里海づくり」の項目で設定されており、平成21年度から実績値（前年度分）の集計を始めている。

## 2 平成21年度取組実績

- ・西三河地域水循環再生地域協議会構成員44団体が実施した71の取組（地域共通の取組18 流域別の取組53）について実績を把握した。（集計結果は別表参照）
- ・地域共通の取組について、「きれいな水」の代表的な取り組みである、生活排水処理施設の整備（下水道、農業集落排水の整備や合併処理浄化槽の普及）が進んだことにより、汚水処理人口普及率が平成20年度よりも上昇した。
- ・流域別の取組について、代表的な取組である「乙川サミット」は参加人数が平成20年度よりも増加している。また、各地でイベントや清掃活動等が継続的に実施されている。
- ・以上のことから、水循環に関する取組は着実に推進している。

< 西三河地域 > 地域共通の取組 18 流域別の取組 53 合計 71

項目		取組数	代表的な取組
地域共通の取組	きれいな水	9	・生活排水処理施設の整備 下水道の整備 H20 67.0% → H21 69.4% 汚水処理人口普及率 H20 81.3% → H21 83.3%
	豊かな水	3	
	多様な生態系	4	
	ふれあう水辺	2	
流域別の取組	矢作川等流域	27	・乙川サミットの開催 参加者数 H20 39人 → H21 133人
	境川等流域	9	
	油ヶ淵等	10	
	三河湾沿岸域(知多半島等)	7	

西三河地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

--- 単年度の実績値  
--- 累積の実績値

めざす姿	指標とする取組 取組内容	指標とする項目		指標とする項目を 報告する機関	指標の説明	
		平成20年度実績	平成21年度実績			
きれいな水	<b>下水道の整備</b> ・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備及び適正な維持管理を推進する。	下水道普及率(%)	67.0%	69.4%	県下水道課	下水道普及率=下水道処理人口/行政人口×100
	<b>農業集落排水施設の整備</b> ・農村生活環境の改善並びに公共用水域等の水質保全のため、農業集落排水施設の整備及び適正な維持管理を推進する。	農業集落排水処理人口普及率(%)	3.38%	3.4%	県農地整備課	農業集落排水処理人口普及率=農業集落排水処理人口/行政人口×100
	<b>合併処理浄化槽の設置</b> ・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)	10.7%	10.4%	県水地盤環境課	・合併処理浄化槽処理人口普及率=合併処理浄化槽設置面積人口/行政人口×100 ・合併処理浄化槽の基数割合=合併処理浄化槽の基数割合/全浄化槽基数×100
		合併処理浄化槽の基数割合(%)	23%	24%		
	<b>コミュニティプラントの整備</b> ・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のためコミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	コミュニティプラント処理人口普及率(%)	0.2%	0.1%	資源循環推進課	コミュニティプラント処理人口普及率=コミュニティプラント処理人口/行政人口×100
		汚水処理人口普及率(%)	81.3%	83.3%		
	<b>高度処理施設の導入</b> ・公共用水域の水質保全のため下水道施設の高度処理を促進する。	高度処理人口普及率(%)	65.5%	69.4%	県下水道課	高度処理実施率=高度処理人口/行政人口×100
	<b>干潟・浅場の保全・再生</b> ・多様な生態系の維持や水質浄化、景観の維持などの多面的な機能を持つ干潟・浅場の保全・再生を推進する。	干潟・浅場造成面積(ha)	6.1ha	4.7ha	各構成員	干潟・浅場を造成した面積
	<b>河川等公共用水域水質監視</b> ・公共用水域の水質常時監視を実施する。	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	96%	96%	県水地盤環境課	・河川BOD(西三河地域のみ)の環境基準達成率 ・海域COD(衣浦湾のみ)の環境基準達成率
		海域(COD)の環境基準達成率(%)	67%	67%		
	<b>河川・海岸の清掃</b> ・河川・海岸の清掃を行う。	実施回数(回)	147回	141回	各構成員	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、のべ参加人数
		実施箇所数	129箇所	152箇所		
		のべ参加人数(人)	24,772人	約25,452人		
豊かな水	<b>森林の整備</b> ・水源かん養機能などの多面的機能を高度に発揮する森林の整備・保全等を推進する。	間伐面積(ha)	1684.28ha	1904.48ha	県森林保全課	間伐を実施した面積
	<b>雨水貯留・浸透施設の設置(浄化槽の転用を含む)</b> ・かん養機能向上のための雨水貯留浸透施設の設置を推進する。	雨水貯留施設の設置数	184箇所	206箇所	各構成員	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数
		雨水貯留浸透施設設置補助件数	442件	340件		
	<b>ため池の保全</b> ・多面的機能を持つため池の保全を推進する。	整備箇所数	56箇所	62箇所	各構成員	構成員が整備したため池の箇所数
多様な生態系	<b>多自然川づくり</b> ・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。					
	<b>干潟・浅場の保全・再生(再掲)</b> ・多様な生態系の維持や水質浄化、景観の維持などの多面的な機能を持つ干潟・浅場の保全・再生を推進する。	干潟・浅場造成面積(ha)	6.1ha	4.7ha		
	<b>ため池の保全(再掲)</b> ・多面的機能を持つため池の保全を推進する。	整備箇所数	56箇所	62箇所		
	<b>河川・海岸の清掃(再掲)</b> ・河川・海岸の清掃を行う。	実施回数(回)	147回	141回		
		実施箇所数	129箇所	152箇所		
		のべ参加人数(人)	24,772人	約25,452人		
ふれあう水辺	<b>多自然川づくり(再掲)</b> ・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。					
	<b>河川・海岸の清掃(再掲)</b> ・河川・海岸の清掃を行う。	実施回数(回)	147回	141回		
		実施箇所数	129箇所	152箇所		
		のべ参加人数(人)	24,772人	約25,452人		

西三河地域 流域別の取組点検指標及び取組実績

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	指標とする項目		
				平成20年度実績	平成21年度実績	
<b>矢作川等流域</b> 【課題】 ○間伐等の維持管理不足が山地崩壊、流木発生 の原因のひとつと考えら れる。 ○手入れ不足の人工林 の増加が生物生息環境 等にも影響を与えている。 ○ダムや堰などが多く設 置され、連続性の分断や 流況の変化による生物の 生息環境に変化をもたら している。 ○沿岸域の一色干潟は 三河湾の浄化のため、将 来にわたって保全が必要 である。  【目標】 ☆上下流連携した森林 整備、瀬や淵など自然 環境の保全による流域 一帯の川づくり ☆山から海までをつなぐ 鳥、カエル、チョウ、トン ボなど、いろいろな種類 の生物の移動ルートの 確保 ☆総合学習の場として 利用できる干潟など親 水空間の保全  <上流> ○水に入って泳ぎたく なる良好な溪流・水辺環 境 <中流> ○水に入って遊びたく なる良好な水辺環境 <下流> ○濁りや色が気になら ない ○水辺に近づける場所 がたくさんある <干潟> ○アサリやウミナナなど	森づくり	<b>水源地域の森林整備</b> ・(財)矢作川水源基金の水源林対策事業に対し負担金を支 出し、県と流域市町村が一体となって水源地域の森林整備及 び作業路新設への助成を行う。 <b>おと川リバーヘッド大作戦</b> ・自然環境啓発イベントとして、森林の間伐、枝打ち、植樹 等を行う。 <b>豊田市100年森づくり構想</b> ・平成19年3月に「豊田市森づくり条例」を制定。 ・森林の施業方法等を示す「豊田市100年の森づくり構想」を策 定する。 <b>自然環境基礎調査の実施</b> ・気候・気象、里山、植物、菌類、動物など自然環境に関する 基礎的な調査。	岡崎市、碧南市、刈谷 市、豊田市、安城市、西 尾市、知立市、高浜市、 みよし市、一色町、吉良 町、幡豆町、幸田町、県 土地水資源課 (※報告機関:県土地水 資源課)	間伐面積 (ha)	間伐面積 (ha)	
				278.57ha	322.19ha	
				岡崎市	参加人数 (人)	参加人数 (人)
				135人	128人	
				豊田市	間伐面積 (ha)	間伐面積 (ha)
				1,258ha	1,477ha	
				豊田市	調査実施の有否	調査実施の有否
				有	有	
		郷づくり	<b>湿地の保全</b> ・湿地・湿原の保全整備を行う。 <b>湿地の保全</b> ・湿地・湿原の保全整備を行う。 <b>ため池の整備</b> ・生態系、景観に配慮した農業水利施設、ため池、水路の整 備。 ・「愛知県ため池保全構想」に基づくため池保全の推進。 <b>農地・水・環境保全向上対策事業</b> ・地域ぐるみで農地、農業用の用排水路等の施設管理活動 を行い、施設の長寿命化を図る。 <b>水とみどりの森の駅事業</b> ・守り育てるべき「自然環境」と守り育てるための「地域活動」が あり、市民が自然を学び、体験できる機会が提供され、交流が 生まれる所を「森の駅」と位置づけ、森の駅(4箇所)、森の駅育 成地区(5箇所)を指定し、各駅で環境保全活動、自然観察会 等を開催する。	岡崎市  豊田市  西三河農林水産 事務所	保全活動回数 (日)	保全活動回数 (日)
				24日	24日	
				豊田市	保全箇所数	保全箇所数
				4箇所	6箇所	
					整備箇所数	整備箇所数
				-	1箇所	
					実施団体数 (団体)	実施団体数 (団体)
				岡崎市	31団体	31団体
				岡崎市	参加人数 (人)	参加人数 (人)
				1,737人	1,356人	
		まちづくり	<b>合流式下水道の改善</b> ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、 雨水貯留施設等の設置を行う。 <b>総合治水対策の推進</b> ・浸水被害の軽減を図るため、ため池の改修、貯留地の整備 を行う。 <b>雨水貯留浸透施設の整備</b> ・公共施設に雨水貯留浸透施設を整備する。 <b>調整池の整備</b> ・計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。	岡崎市  岡崎市  岡崎市  安城市	対策箇所数	対策箇所数
				-	-	
			岡崎市	スクリーン数 (箇所)	スクリーン数 (箇所)	
			0箇所	9箇所 (累積)		
			岡崎市	整備延長 (m)	整備延長 (m)	
			-	-		
			岡崎市	設置数	設置数	
			1基	1基		
			安城市	整備容量 (m <sup>3</sup> )	整備容量 (m <sup>3</sup> )	
			3,193m <sup>2</sup>	-		
	里川・里海づくり	<b>準用河川堀川の浚渫・覆砂</b> ・泥土・悪臭・景観上の改善のため、浚渫、覆砂を実施。 <b>干潟・浅場の造成</b> ・漁場生産力の回復、水質浄化機能の向上を図るため、干潟 浅場を造成する。 <b>矢作川水辺ブラザ事業</b> ・岡崎市が矢作川沿いの大門河川緑地と大門公園、堤下公園 を一体に整備し、国が堤防の拡幅と低水護岸整備等を行う。 <b>遊歩道の整備の検討</b> ・遊歩道の整備を念頭に、地元、愛知県、岡崎市(事務局)環 境保全課が協議・話し合い、この区間において親水性の高い 場所となるよう検討を行う。	碧南市  県水産課  岡崎市	実施数量 (立方メートル)	実施数量 (立方メートル)	
			1,180m <sup>3</sup>	360m <sup>3</sup>		
				干潟・浅場造成面積 (ha)	干潟・浅場造成面積 (ha)	
			4.9ha	4.7ha		
				整備箇所数	整備箇所数	
			0.65ha	1.67ha (累積)		
			岡崎市	会議開催数 (回)	会議開催数 (回)	
			2回	検討は完了		

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	指標とする項目	
				平成20年度実績	平成21年度実績
		<b>緩傾斜護岸の整備</b> ・堤防耐震化とともに、安全で人々が快適に水辺に近づけるよう堤防の緩傾斜化を図る。	西三河建設事務所	整備延長(m) 161m	整備延長(m) 850m
		<b>ボートパークの整備</b> ・浮棧橋を整備し、放置艇解消により、地域環境の向上、防災上の改善を図る。 ・マリンレジャーの拠点として海辺の魅力向上を図る。	西三河建設事務所	ボートパーク完成 計画 142艇/180艇	ボートパーク完成 (H20.10.1) 計画 141艇/180艇 (H22.4.1現在)
		<b>矢作川沿岸の水質保全</b> ・開発時に事業者と事前協議を行い、濁水流出の未然防止に努めている。 ・流域住民交流による水質保全活動を実施する。 ・工場排水、開発工事現場、廃棄物処分場などのパトロール	矢作川沿岸水質保全対策協議会	パトロール回数 124回	パトロール回数 131回
		<b>川の清掃活動等</b> ・河川の清掃を行う。	幸田町	実施回数(回) 7回 実施箇所 1箇所 のべ参加人数(人) 432人	実施回数(回) 4回 実施箇所 2箇所 のべ参加人数(人) 376人
		<b>海浜の清掃活動</b> ・海浜の清掃を行う。	県水産課	実施回数(回) 4回 のべ参加人数(人) 173人	実施回数(回) - のべ参加人数(人) -
		<b>水生生物調査</b> ・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	流域市町、豊橋 河川事務所、県 水地盤環境課 (※報告機関:県 水地盤環境課)	実施箇所数 55箇所 のべ参加人数(人) 1,216人	実施箇所数 50箇所 のべ参加人数(人) 1,943人
		<b>干潟観察会の実施</b> ・干潟は豊かな生態系を育むとともに、海域の水質浄化にも大きな働きをもっていることから、このような干潟の機能を学習し、干潟の保全活動につなげる。	一色町	実施回数(回) 1回 参加者数(人) 126人	実施回数(回) 1回 参加者数(人) 141人
		<b>「水のかんきょう楽校」(水源かん養林事業)</b> ・明治用水土地改良区は、百年近く前から先人達が掲げた「水をつかうものは水をつくれ」を合い言葉に、長野県根羽村ほかで「水源の森」約525haを守り続けている。 ・この取組の一環として、小中学生を中心とした「水のかんきょう楽校」を開校し、水の大切さ・水源の森の役割・『水循環』などを地球的な規模として考え、学ぶ機会を提供する。	明治用水土地改良区	啓発事業開催回数 31回 啓発事業参加者人数(人) 6,578人 連携団体数(団体) 21団体	啓発事業開催回数 31回 啓発事業参加者人数(人) 6,094人 連携団体数(団体) 14団体
		<b>乙川サミットの開催</b> ・乙川に関係する団体(学校、漁協、美しくする会、岡崎市、愛知県、国など)が一堂に会して、各団体の活動や事業を紹介し、お互いの活動に対して理解を深めるため、定期的に乙川サミットを開催する。	岡崎市	参加者数(人) 39人 参加団体数(団体) 16団体	参加者数(人) 133人 参加団体数(団体) 討論 4団体 参加団体 不明
		<b>船遊び(乙川観光船事業)</b> ・観光基本計画に基づき観光振興アクションプランの重点プロジェクトの1つとして「家康公のまち」魅力創造事業で特に岡崎公園・八帖蔵通り・大樹寺周辺を結ぶエリアを岡崎観光の各拠点となる重点地区として乙川を利用した新たな観光資源として観光船を浮かべ観光客の誘致を図る。	岡崎市	参加者数(人) 5,080人	参加者数(人) 3,894人



流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	指標とする項目	
				平成20年度実績	平成21年度実績
<b>三河湾沿岸域x (知多半島等)</b>  <b>【課題】</b> ○単調な河川環境が見られることから、 <u>自然に恵まれ、うるおいを感じる</u> ことができる川づくりが必要となっている。  ○流域には多くのため池が見られるが、ため池は多面的機能を持つことから、その <u>保全を図ることが必要</u> である。  ○生活排水対策とともに、 <u>農地・畜産の環境保全対策も重要</u> となっている。  <b>【目標】</b> ☆水辺を散歩したい川 ☆生き物をはぐむため  ○水辺の緑が豊かで、魚や昆虫などが見られる川 ○利水・治水を始め多面的機能を有するため池の	森づくり	<b>水源涵養林育成事業</b> ・植樹祭でヒノキの苗の植樹を行う。	愛知用土地改良区	整備面積 (ha) 0.3ha	整備面積 (ha) 0.3ha
	郷づくり	<b>湿地の保全</b> ・湿地・湿原の保全整備を行う。	阿久比町	保全回数 (回) 24回 参加人数 (人) 240人	保全回数 (回) 24回 参加人数 (人) 延240人
	まちづくり	— —	—	— —	— —
	里川・里海づくり	<b>港湾環境整備事業</b> ・緑地の整備を行い、憩いの場の創出を図る。	衣浦港務所	整備面積 (ha) —	整備面積 (ha) —
		<b>矢勝川の河川清掃等</b> ・矢勝川の堤防と河川敷において草刈りを行い、彼岸花の少なくなってきた部分には補植を行う。	半田市	実施回数 (回) 4回 実施箇所数 1箇所 のべ参加人数 (人) 97人	実施回数 (回) 4 (矢勝川の環境を守る会) 実施箇所数 1箇所 のべ参加人数 (人) 107人
		<b>海浜の清掃活動</b> ・海浜の清掃を行う。	県水産課	実施回数 (回) 1回 のべ参加人数 (人) 23人	実施回数 (回) — のべ参加人数 (人) —
		<b>平地川のゴミ調査等</b> ・地元小中学校の総合学習において、ゴミ調査、水質調査、海の状態調査を行う。	半田市	実施回数 (回) 2回 実施箇所数 2箇所 のべ参加人数 (人) 85人	実施回数 (回) 4回 実施箇所数 5箇所 のべ参加人数 (人) 179人
		<b>水生生物調査</b> ・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	流域市町、県水地盤環境課 (※報告機関：県水地盤環境課)	実施箇所数 3箇所 のべ参加人数 (人) 47人	実施箇所数 8箇所 のべ参加人数 (人) 120人